『PacBio 植物・動物ゲノミクス・微生物研究』ウェビナーシリーズ（全 3 回）

第 2 回　植物ゲノム解析の活用事例

かずさゲノムプロジェクトの目指す未来

白澤 健太
かずさ DNA 研究所 先端研究開発部 植物ゲノム生物学研究室

演者らが推進する「かずさゲノムプロジェクト」は、植物の T2T（telomere-to-telomere）レベルのゲノムアセンブリとゲノム構造の比較解析を通じた、分類体系の抜本的な再構築を目指しています。その第一歩として、未解明の多様な被子植物の目（もく）を対象としたゲノム解読を推進しています。本講演では、PacBio の高精度ロングリード技術によりもたらされる HiFi リードをはじめ、最先端技術を駆使した、高精度な T2T ゲノム解読の取り組みについて解説します。また、研究データの利用促進を目指した Kazusa Genome Atlas データベース（https://genome.kazusa.or.jp）や、ゲノム技術の産業応用、さらに研究の理解を深めるためのアウトリーチ活動についても合わせて紹介し、ゲノム科学が切り拓く次世代の植物研究を展望します。

